

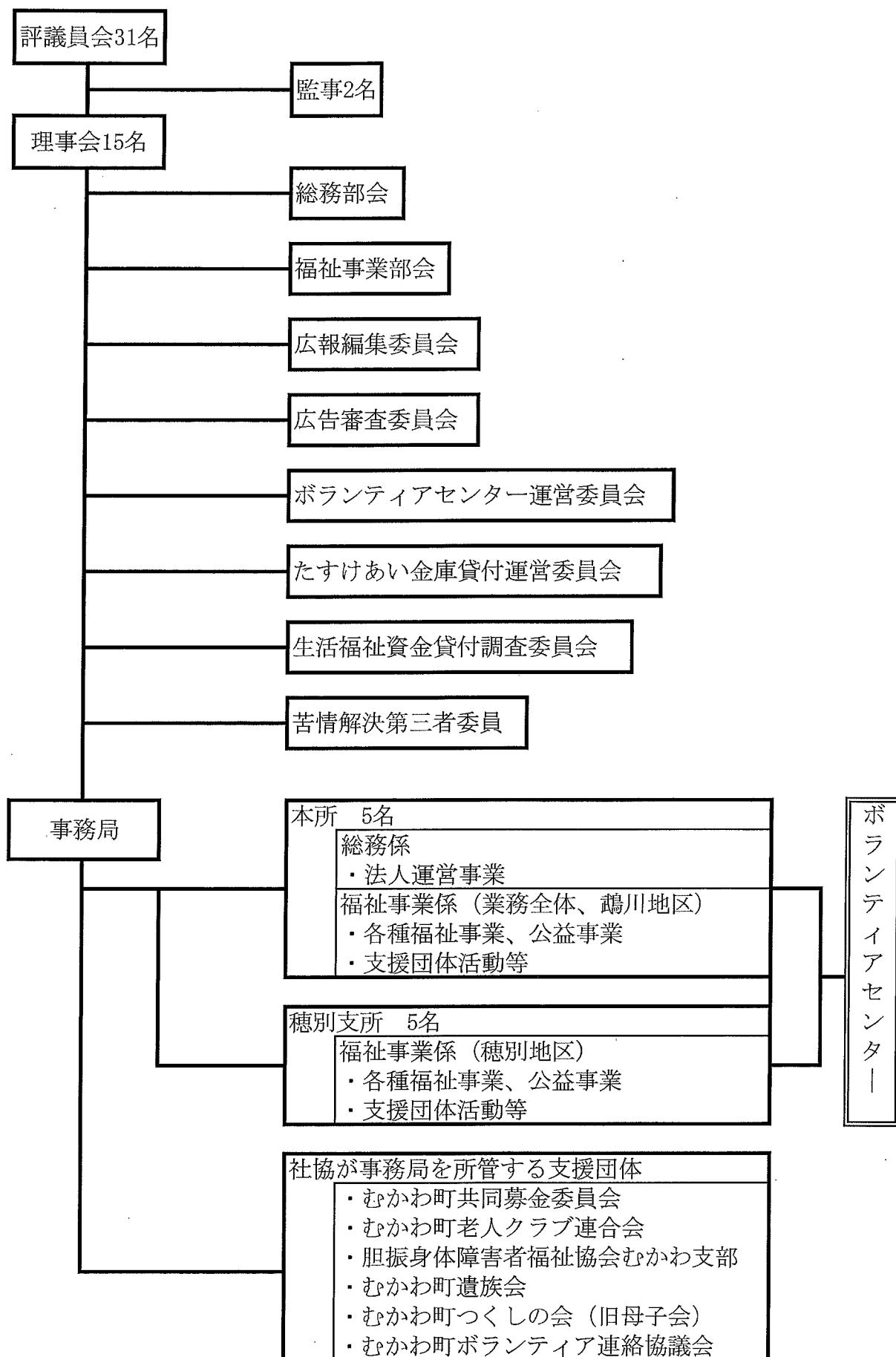
平成28年度

事業報告書

目次

・平成28年度 組織図	1
・平成28年度 事業報告（総括）	2
・会議等の開催状況報告	3 ~ 5
・事業活動報告	6 ~ 16

平成28年度 社会福祉法人むかわ町社会福祉協議会 組織図



平成28年度社会福祉法人むかわ町社会福祉協議会事業報告

平成28年度基本方針

近年、わが国においては、少子高齢化がもたらす人口減少社会の到来が予測されており、過疎地域の労働力人口の減少、社会保障を支える世代の負担増などの課題を抱えております。

地域生活に目を向けると、地域住民相互のつながりは希薄となりつつあり、認知症や障がい等により複雑な生活課題を抱えています。こうした多様な福祉ニーズに対応する支援は、行政の提供するサービスや介護保険事業などの市場サービスとして展開されているものの、現行サービスの枠では捉えきれない生活課題も多く見られ、地域住民相互の連携を生む支援が求められています。また、日常生活自立支援事業など権利擁護の取り組みを中心として、地域における生活支援を展開し、地域住民と連携を図りながら、安心して地域で暮らすことのできる地域づくりの取り組みを推進いたします。

社会福祉協議会は、社会福祉法に規定された「地域福祉を推進する中核的な団体」として、中期的な指針である「第4期地域福祉実践計画」に基づき事業を推進いたします。

また、当該計画の評価を踏まえ、平成29年4月からの第5期地域福祉実践計画の策定に取り組みます。

[概要]

本会は、地域包括ケアシステムの構築に向けて、生活支援コーディネーター研修に職員が参加し、活動の基礎的理解と技術の向上を図るとともに、協議体のメンバーとして地域支援体制の構築に努めました。又、認知症、知的障がい、精神障がい等により判断能力が不十分な方々に対して、福祉サービス援助や金銭管理などの援助を行うことにより、地域での自立した生活を支援するため、行政等からの相談に応じ、助言を行い、生活支援専門員及び生活支援員を適切に配置し、支援に努めました。

今年度最終年である「第4期地域福祉実践計画」に掲げる「ともに支え合う、安心・安全・福祉のまちづくり」を目標に、社会福祉法改正の動向を見据えながら、事業の推進に取り組んできました。

改正社会福祉法は、新たな福祉課題や貧困問題の広がりを背景に、社会福祉法人の組織改革、財政改革を進め、地域公益事業の取り組みを推進する内容となっており、理事会・評議員会等の開催を通じて、事業の進捗及び経営の状況について認識を共有できる執行体制を確保しました。

「第5期地域福祉実践計画」（平成29～33年度の5ヶ年計画）は、策定委員会を設置し、計6回の協議を重ね策定しました。今後は、その周知と実践が求められています。

会議等の開催状況報告

1. 評議員会開催状況

(1)	第1回定例評議員会	平成28年 5月25日	22名出席
・	報 告～平成28年度共同募金助成額決定報告について等	3件	
・	議 案～平成27年度事業報告、平成27年度資金収支決算報告について等	3件	
(2)	第2回定例評議員会	平成29年 1月28日	25名出席
・	報 告～社会福祉法人制度改革に伴う法改正の内容及び今後手続について等	2件	
・	議 案～定款変更認可申請について等	2件	
(3)	第3回定例評議員会	平成29年 3月29日	26名出席
・	報 告～評議員の選任について等	3件	
・	議 案～平成29年度事業計画、平成29年度資金収支予算について等	4件	

2. 理事会開催状況

(1)	第1回臨時理事会	平成28年 4月14日	14名出席
・	報 告～各委員会委員の選任報告について等	5件	
・	議 案～平成27年度事業報告について等	4件	
(2)	第1回定例理事会	平成28年 5月18日	11名出席
・	報 告～各委員会委員の選任報告について等	5件	
・	議 案～平成27年度事業報告について等	4件	
(3)	第2回定例理事会	平成28年 7月27日	12名出席
・	報 告～平成27年度資産登記完了報告について等	6件	
(4)	第3回定例理事会	平成28年10月 3日	11名出席
・	報 告～平成28年度社会福祉法人に係る指導監査結果報告について等	6件	
・	議 案～むかわ町社会福祉協議会経理規程の改正について	1件	
(5)	第4回定例理事会	平成28年12月 2日	11名出席
・	報 告～平成28年度指導監査結果措置状況報告について等	6件	
・	議 案～特定個人情報取扱規定の制定について等	3件	
(6)	第5回定例理事会	平成29年 1月17日	11名出席
・	報 告～平成29年度予算要望状況について等	7件	
・	議 案～定款変更認可申請について等	2件	

(7) 第6回定例理事会	平成29年 3月13日	11名出席
・ 報告～部会・委員会の開催報告について等		4件
・ 議案～平成28年度資金収支補正予算について等		11件

3. 監事の監査及び報告状況

(1) 第1回監査（平成27年度 決算監査）	2名出席
・ 実施～平成28年 5月 6日	
・ 報告～平成28年 5月18日 第1回定例理事会	
(2) 第2回監査（平成28年度 第1／四半期監査・助成団体監査）	2名出席
・ 実施～平成28年 8月 3日	
・ 報告～平成28年10月 3日 第3回定例理事会	
(3) 第3回監査（平成28年度 第2／四半期監査）	2名出席
・ 実施～平成28年10月31日	
・ 報告～平成28年12月 2日 第4回定例理事会	
(4) 第4回監査（平成28年度 第3／四半期監査）	2名出席
・ 実施～平成29年 2月 3日	
・ 報告～平成29年 3月13日 第6回定例理事会	

4. 部会及び委員会開催状況

(1) 総務部会	
・ 実施～平成28年 6月24日 8名	
平成28年 9月29日 5名	
平成28年11月10日 8名	
平成28年12月27日 8名	
平成29年 2月27日 7名	延べ36名出席
・ 報告～平成28年度指導監査結果報告について等	延べ 9件
・ 議案～平成29年度事業計画、平成29年度資金収支予算について等	延べ 12件
(2) 福祉事業部会	
・ 実施～平成28年 6月27日 11名	
平成28年10月 5日 7名	
平成29年 2月20日 9名	延べ27名出席
・ 報告～平成28年度歳末たすけあい募金助成について等	延べ 4件
・ 議案～第4期地域福祉実践計画実績及び評価について等	延べ 5件
(3) 広報編集委員会	
・ 実施～平成28年 6月28日 4名	
平成29年 2月10日 6名	延べ10名出席
・ 報告～広報編集委員会委員の選任報告について等	延べ 3件
・ 議案～平成28年度広報誌の発行計画について等	延べ 3件

- (4) たすけあい金庫貸付運営委員会
- ・ 実 施～平成28年 6月29日 4名
平成29年 2月23日 4名 延べ 8名出席
 - ・ 報 告～平成28年度たすけあい金庫貸付・償還状況について等 延べ 6件
 - ・ 議 案～委員長並びに副委員長の選任について 延べ 1件
- (5) 生活福祉資金貸付調査委員会
- ・ 実 施～平成28年 6月29日 4名
平成29年 2月23日 4名 延べ 8名出席
 - ・ 報 告～平成28年度生活福祉資金貸付・償還状況について等 延べ 6件
 - ・ 議 案～委員長並びに副委員長の選任について 1件
- (6) ボランティアセンター運営委員会
- ・ 実 施～平成28年 6月30日 4名
平成28年12月20日 3名 延べ 7名出席
 - ・ 報 告～第4期地域福祉実践計画について等 2件
 - ・ 議 案～平成28年度ボランティア事業について 1件
- (7) 評議員選任・解任委員会
- ・ 実 施～平成29年3月21日 5名
 - ・ 報 告～評議員選任・解任委員会委員の選任報告について等 2件
 - ・ 議 案～評議員候補者の選任について等 2件

事業活動報告

計 画	実 績																				
<p>I 法人運営事業</p> <p>1. 本所・支所の組織の充実</p> <p>(1) 本所・支所の職員配置及び適正化に努める。</p> <p>(2) 社協職員の給与是正措置を強く要望し、実現に努める。</p> <p>(3) 職員の質の向上、能力向上の取り組みとして、資格習得を促進するとともに研修会等への積極的参加を促す。</p> <p>(4) 職員倫理規定を遵守し職員会議等でコンプライアンスの理解を深める。</p> <p>(5) 職員間で事業前打ち合わせ、事業後の反省等を職員で（年4回）報告し、協議する。ミーティングは必要な都度開き計画の重要性に関する意識教育を徹底する。</p> <p>(6) 多様な住民の福祉ニーズに対応するため、「生活支援員」からの情報収集に努める。</p>	<p>事務量、業務量等の見直しに努めた。 行政担当課と協議を行った。</p> <p>関係機関等の研修会に参加。社会福祉士等資格取得のための奨励を図り、職員の協力があった。</p> <p>職員倫理規定の遵守を職員会議等で理解を深めた。</p> <p>職員会議を5回開催。ミーティングは適宜実施した。</p> <p>生活支援員から都度情報を聞き取り、関係機関との情報共有を図った。</p>																				
<p>2. 法人財政基盤の促進</p> <p>(1) 貴重な自主財源として、町民の理解による会員会費の加入促進並びに賛助会費、特別会費の入会啓蒙活動を実施する。</p> <p>(2) 社協広報誌「ふくしだより」への企業等の有料広告掲載に係る周知及び啓蒙を役職員協力のもと実施する。</p> <p>(3) 行政等の事業受託、収益事業等への可能性の有無を模索する。</p> <p>(4) 公費の適正な財源確保を図る必要性について、むかわ町の理解と協力を積極的に働きかける。</p> <p>(5) 共同募金（赤い羽根募金・歳末たすけあい募金）は貴重な自主財源となることから、共同募金委員会と連携を図り、運動の啓蒙と募金の協力をを行う。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th><th>28年度</th><th>27年度</th><th>比較</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般会費</td><td>2,310,100</td><td>2,368,100</td><td>△58,000</td></tr> <tr> <td>特別会費</td><td>483,000</td><td>483,000</td><td>0</td></tr> <tr> <td>賛助会費</td><td>277,000</td><td>338,000</td><td>△61,000</td></tr> <tr> <td>合計</td><td>3,070,100</td><td>3,189,100</td><td>△119,000</td></tr> </tbody> </table> <p>企業等への要請を実施したが、実績なし。 有料広告掲載の募集ふくしだよりに1回掲載継続調査</p> <p>担当課と事前打ち合わせを行い、事業説明及び予算について理解と協力を得た。</p> <p>役員・職員も含め企業訪問及び街頭募金等積極的に啓蒙と募金協力を行った。</p>	区分	28年度	27年度	比較	一般会費	2,310,100	2,368,100	△58,000	特別会費	483,000	483,000	0	賛助会費	277,000	338,000	△61,000	合計	3,070,100	3,189,100	△119,000
区分	28年度	27年度	比較																		
一般会費	2,310,100	2,368,100	△58,000																		
特別会費	483,000	483,000	0																		
賛助会費	277,000	338,000	△61,000																		
合計	3,070,100	3,189,100	△119,000																		

計 画	実 績
<p>3. 社協事務所・福祉活動拠点施設の適切な利用</p> <p>本所、支所事務所は、むかわ町の理解のもと十分なスペースと明るい環境のもと、社協専用スペースとして高齢者や障がいのある方、ボランティア、協力員等誰もが気軽に立ち寄れる場所として適切に活用する。相談業務で、来所される方のプライバシー確保を図る環境整備に努める。また、福祉活動拠点として、住民の福祉活動拠点となる施設機能を持った「ボランティアセンター」「介護予防センター」「町民センター」等をサロン事業等で有効に利用する。</p>	<p>常に整理整頓し、備品等の設置も考慮しながら来所者が気軽に立ち寄れる場所とした。相談支援等で来所された場合は空き状況により個室にて対処した。</p> <p>いきいきふれあいサロン事業等で「介護予防センター」並びに「町民センター」の会議室及びコミュニティールームを適切に利用した。</p>
<p>4. サービスの質の向上の取り組み</p> <p>苦情があった場合には誠心誠意対応し、事情調査に取り組み、解決に向けて苦情解決システムの運用を図る。</p>	<p>苦情相談窓口体制を掲示し、対応した。苦情受付及び報告等の取扱実績 0 件。</p>
<p>5. 地域福祉力を高める協議体への参画</p> <p>社協の独自の役割と機能への理解と運営への支援を得るため、行政との協働の連携を強化し、介護予防を含む住民主体による活動や生活支援等サービスの開発は、できるだけ多くの地域の主体や元気な高齢者の参加を得て生活支援等サービスが提供できる体制や基盤をつくる協議体へ積極的に参画する。</p>	<p>むかわ町担当課と連携を図り、協議体の参画、社協の役割、支援方法を協議した。</p> <p>行政との協働の確立、医療・福祉、学校、その他の関係機関・団体・住民との「参画と協働」のネットワークづくりに努めた。毎月 2 回開催される地域ケア会議に出席し、高齢者等福祉対策及び介護予防事業の情報共有と意見交換を行った。</p>
<p>6. 第4期地域福祉実践計画の適正な運用及び見直し</p> <p>第4期地域福祉実践計画の評価等を行い、適正な運用を図ります。社会・経済情勢の変化や社会福祉の動向などに対応するため、必要に応じて計画内容の見直しを福祉事業部会等で協議する。第5期地域福祉実践計画策定委員会を設置し、策定に向け取り組みます。</p>	<p>福祉事業部会で現状把握とともに協議・評価見直しを行い総務部会に報告した。第5期地域福祉実践計画策定委員会を設置、策定委員 10 名による計 6 回の委員会を開き、アンケート調査で住民意識・要望等収集し、実践計画をまとめ社協会長に答申した。</p>
<h2>II. 広報・啓発事業</h2> <p>1. ふくしだよりの発行、各種情報の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) ふくしだより（ボランティア情報誌を含む）を、年間 6 回発行、全戸配付する。 (2) 社協概要を発行し、福祉関係機関などに配布する。 (3) 地域活動を推進するため、各種情報を掲示板等で提供する。 (4) ホームページを必要時に更新し、ボランティア活動など各種事業等の情報周知に努め、法人情報や地域福祉に対する理解と認識を高める。 (5) 報道機関への積極的な事業周知及び報道依頼を開する。 	<p>年 6 回 (№6 1 ~ 6 6) 発行し、全戸に配付した。 発行日 H28. 6. 1 / H28. 8. 1 / H28. 10. 1 H28. 12. 1 / H29. 2. 1 / H29. 4. 1 平成 28 年 7 月に発行し配付した。 各種情報を適宜掲示板等で提供した。</p> <p>内容等を更新しながら地域福祉に関連する社協事業を新着情報として発信した。</p> <p>社協事業の事前周知・事業実施の報道を積極的に依頼し、報道された。</p>

計 画	実 績
<p>III. 地域福祉活動事業</p> <p>1. 地域ネットワーク事業の推進</p> <p>ふれあい広場の実施</p> <p>地域住民が誰でも気軽に参加し、お年寄りや心身にハンディキャップのある方、児童や生徒が一緒になって「ふれあい」の場をとおして、福祉活動に対する住民の理解をより深めるため、参加された方が支え合い、人に優しい心の「わ」の広がりと、今後の地域福祉活動の推進を図るためテーマは、「思いやりと支え合いで築こうむかわの『輪』」とし、町内の園児の絵の展示や、小学生が教えるバルーンアートの体験ブース、じゃんけん大会など多くのボランティアが運営を支え、子供から大人まで幅広い楽しい交流の場となった。</p> <p>2. 自治会（町内会）活動推進事業</p> <p>(1) 地域福祉活動推進奨励事業</p> <p>高齢化が急ピッチで進行し、ひとり暮らし高齢者の孤独死や介護疲れによる悲しい事件が起きるなど、さまざまな社会問題が発生している。「誰もが健康で安心して生活できる地域社会」にするには、地域(町内会・自治会)での高齢者や障がい者などを、地域が連帯して支えあう取り組みが急がれております。そこで、これらの活動を町内会・自治会に奨励し、地域ぐるみで福祉活動を推進するために、①見守り活動②日常生活支援事業③社会参加活動事業を実践した地区に活動費の一部を助成する。</p> <p>■実践活動</p> <p>1. 見守り活動</p> <p>対象：日常の生活や健康状態、非常時の対応が心配なひとり暮らしの高齢者等</p> <p>事例：声かけや定期的な訪問による話し相手などをしながら、安否の確認や健康上の変化を見守ることによって、事故を未然に防いだり、異常を発見します。</p>	

区 分	28 年度		27 年度	
鶴川地区	25 件	180,000	24 件	170,000
穂別地区	10 件	60,000	10 件	60,000
合 計	35 件	240,000	34 件	230,000

計 画	実 績																				
<p>【訪問しなくても、例えば】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・夜間、電気が点灯しているか。 ・カーテンが開閉されているか。 ・新聞郵便物がたまっていないか。 ・回覧板が回っているか。 ・雪が積もったままか。 <p>などを見回りするだけでも効果があります。</p> <p>助成：(1)連合自治会、広域及び市街地自治会 1万円 (2)上記以外の自治会 5千円</p>																					
<p>2. 日常生活支援活動</p> <p>対象：身体が不自由になって、炊事、洗濯、掃除などの家事や外出が困難となっている世帯、家族での介護や看病が困難な高齢者等</p> <p>事例：(1)家事援助～除雪・除草・買物・ゴミ出し・掃除・洗濯・アイロンかけ・布団干し・代筆・食事つくりなど (2)身辺介助～洗髪・ヒゲ剃り・爪きり・着替え・化粧など (3)外出介助～買物随行・散歩随行・知人宅訪問・通院付添など (4)介護支援～介護の手伝い・介護者の代行など (5)その他～簡単な用事足し・給配食・留守番・諸手続きの代理・薬の受取・話し相手・悩みごと相談など</p> <p>助成：(1)連合自治会、広域及び市街地自治会 2万 (2)上記以外の自治会 1万円 (3)要支援者1人につき500円加算 ※介護保険認定者は除く。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th><th colspan="2">28 年度</th><th colspan="2">27 年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鶴川地区</td><td>11 件</td><td>170,500</td><td>11 件</td><td>171,000</td></tr> <tr> <td>穂別地区</td><td>7 件</td><td>91,000</td><td>7 件</td><td>90,500</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>18 件</td><td>261,500</td><td>18 件</td><td>261,500</td></tr> </tbody> </table>	区 分	28 年度		27 年度		鶴川地区	11 件	170,500	11 件	171,000	穂別地区	7 件	91,000	7 件	90,500	合 計	18 件	261,500	18 件	261,500
区 分	28 年度		27 年度																		
鶴川地区	11 件	170,500	11 件	171,000																	
穂別地区	7 件	91,000	7 件	90,500																	
合 計	18 件	261,500	18 件	261,500																	
<p>3. 社会参加活動助成</p> <p>対象：住民</p> <p>事例：家に閉じこもっていると寝たきりへの道へ猛スピードで疾走することになります。高齢期を元気で生き生き暮らすには、「健康づくり」、「仲間づくり」、「生きがいづくり」が大切です。地域住民のふれあいのなかで、コミュニティ活動を再生します。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th><th colspan="2">28 年度</th><th colspan="2">27 年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鶴川地区</td><td>59 件</td><td>592,800</td><td>64 件</td><td>579,400</td></tr> <tr> <td>穂別地区</td><td>15 件</td><td>146,400</td><td>15 件</td><td>141,000</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>74 件</td><td>739,200</td><td>79 件</td><td>720,400</td></tr> </tbody> </table>	区 分	28 年度		27 年度		鶴川地区	59 件	592,800	64 件	579,400	穂別地区	15 件	146,400	15 件	141,000	合 計	74 件	739,200	79 件	720,400
区 分	28 年度		27 年度																		
鶴川地区	59 件	592,800	64 件	579,400																	
穂別地区	15 件	146,400	15 件	141,000																	
合 計	74 件	739,200	79 件	720,400																	

計 画	実 績																														
(1)介護予防事業（元気高齢者づくり） 生きがい活動、花いっぱい運動、スポーツレク大会、サロン活動・健康教育、料理教室、昼食会、昔の遊び・輪投げ・パッчなど	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th><th colspan="2">28 年度</th><th colspan="2">27 年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鶴川地区</td><td>18 件</td><td>153, 400</td><td>21 件</td><td>152, 000</td></tr> <tr> <td>穂別地区</td><td>0 件</td><td>—</td><td>0 件</td><td>—</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>18 件</td><td>153, 400</td><td>21 件</td><td>158, 600</td></tr> </tbody> </table>				区 分	28 年度		27 年度		鶴川地区	18 件	153, 400	21 件	152, 000	穂別地区	0 件	—	0 件	—	合 計	18 件	153, 400	21 件	158, 600							
区 分	28 年度		27 年度																												
鶴川地区	18 件	153, 400	21 件	152, 000																											
穂別地区	0 件	—	0 件	—																											
合 計	18 件	153, 400	21 件	158, 600																											
(2)世代間交流事業 高齢者と子供・婦人の集い、高齢者の能力を引き出す事業、体験学習など	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th><th colspan="2">28 年度</th><th colspan="2">27 年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鶴川地区</td><td>13 件</td><td>106, 400</td><td>15 件</td><td>114, 000</td></tr> <tr> <td>穂別地区</td><td>5 件</td><td>29, 000</td><td>5 件</td><td>29, 000</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>18 件</td><td>135, 400</td><td>20 件</td><td>143, 000</td></tr> </tbody> </table>				区 分	28 年度		27 年度		鶴川地区	13 件	106, 400	15 件	114, 000	穂別地区	5 件	29, 000	5 件	29, 000	合 計	18 件	135, 400	20 件	143, 000							
区 分	28 年度		27 年度																												
鶴川地区	13 件	106, 400	15 件	114, 000																											
穂別地区	5 件	29, 000	5 件	29, 000																											
合 計	18 件	135, 400	20 件	143, 000																											
(3)自治会(町内会)行事への連れ出し 運動会、パークゴルフ大会、各種レク大会、生きがい健康まつり、花見会・リサイクル活動・研修会・温泉旅行など 助成：参加者 1 人につき 200 円、2 万円を限度と 10 件する。 ※他から助成される事業は、対象外とする。 ※ 1 自治会 2 事業を限度とする。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th><th colspan="2">28 年度</th><th colspan="2">27 年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鶴川地区</td><td>28 件</td><td>333, 000</td><td>28 件</td><td>313, 400</td></tr> <tr> <td>穂別地区</td><td>10 件</td><td>117, 400</td><td>10 件</td><td>112, 000</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>38 件</td><td>450, 400</td><td>38 件</td><td>425, 400</td></tr> </tbody> </table>				区 分	28 年度		27 年度		鶴川地区	28 件	333, 000	28 件	313, 400	穂別地区	10 件	117, 400	10 件	112, 000	合 計	38 件	450, 400	38 件	425, 400							
区 分	28 年度		27 年度																												
鶴川地区	28 件	333, 000	28 件	313, 400																											
穂別地区	10 件	117, 400	10 件	112, 000																											
合 計	38 件	450, 400	38 件	425, 400																											
(2) 福祉委員活動の推進 町内各地域において福祉に関する問題や要望を発見し、助け合い活動を展開して地域の人たちと共に福祉のまちづくりを進める「地域福祉活動家」である福祉委員を配置するとともに、福祉の啓発活動、ふれあい活動、たすけあい活動、社協事業等の協力など具体的に推進するために、自治会・町内会長の協力を得て情報交換の場や新任者のための研修を実施する。	<p>福祉委員 8 6 名の委嘱 期間 平成 29 年 3 月 31 日まで（3 年） 研修会：平成 28 年 8 月 30 日（火）／31 日（水） <ul style="list-style-type: none"> ・穂別町民センターツツジホール参加者／33 名 ・産業会館第 3 会議室 参加者／75 名 ・地域支え合い研修／福祉委員研修（合同） ・「みんなで支え合う地域づくりⅡ～「○○があつたらいいな」をみんなで実現しましょう～」 ・講師：長井巻子氏「住民主役の地域づくり」 ・さわやか福祉財団さわやかインストラクター <p>問い合わせ及び実績なし。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th><th>28 年度</th><th>27 年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>車椅子</td><td>32 件</td><td>30 件</td></tr> <tr> <td>歩行器</td><td>5 件</td><td>3 件</td></tr> <tr> <td>簡易トイレ</td><td>5 件</td><td>1 件</td></tr> <tr> <td>行事用テント</td><td>17 件(80 張)</td><td>18 件(70 張)</td></tr> </tbody> </table> <p>葬儀・見舞い返し用葉書を印刷し提供した。 28 年度 34 件 11, 550 枚 27 年度 43 件 16, 350 枚</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th><th>28 年度</th><th>27 年度</th><th>比 較</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鶴川地区</td><td>4 件</td><td>5 件</td><td>△1 件</td></tr> <tr> <td>穂別地区</td><td>2 件</td><td>5 件</td><td>△3 件</td></tr> </tbody> </table> </p>				区 分	28 年度	27 年度	車椅子	32 件	30 件	歩行器	5 件	3 件	簡易トイレ	5 件	1 件	行事用テント	17 件(80 張)	18 件(70 張)	区 分	28 年度	27 年度	比 較	鶴川地区	4 件	5 件	△1 件	穂別地区	2 件	5 件	△3 件
区 分	28 年度	27 年度																													
車椅子	32 件	30 件																													
歩行器	5 件	3 件																													
簡易トイレ	5 件	1 件																													
行事用テント	17 件(80 張)	18 件(70 張)																													
区 分	28 年度	27 年度	比 較																												
鶴川地区	4 件	5 件	△1 件																												
穂別地区	2 件	5 件	△3 件																												
3. 福祉活動車両及び福祉機器・備品の貸付事業 (1) リフト付ワゴン車を整備し、地域福祉活動を実践する地域・団体に、福祉活動車両として貸付ける。 (2) 車イスや歩行器など福祉機器を無償で貸与する。 (3) 行事用テント、遊具などの備品を無償で貸与する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th><th>28 年度</th><th>27 年度</th><th>比 較</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鶴川地区</td><td>4 件</td><td>5 件</td><td>△1 件</td></tr> <tr> <td>穂別地区</td><td>2 件</td><td>5 件</td><td>△3 件</td></tr> </tbody> </table>				区 分	28 年度	27 年度	比 較	鶴川地区	4 件	5 件	△1 件	穂別地区	2 件	5 件	△3 件															
区 分	28 年度	27 年度	比 較																												
鶴川地区	4 件	5 件	△1 件																												
穂別地区	2 件	5 件	△3 件																												
4. 生活改善合理化普及奨励事業及び葬祭協力 (1) 生活改善合理化による虚礼廃止を奨励し、慶弔用ハガキを作成し提供する。 (2) 会員加入自治会・町内会が主体で行われる葬祭に協力する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th><th>28 年度</th><th>27 年度</th><th>比 較</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鶴川地区</td><td>4 件</td><td>5 件</td><td>△1 件</td></tr> <tr> <td>穂別地区</td><td>2 件</td><td>5 件</td><td>△3 件</td></tr> </tbody> </table>				区 分	28 年度	27 年度	比 較	鶴川地区	4 件	5 件	△1 件	穂別地区	2 件	5 件	△3 件															
区 分	28 年度	27 年度	比 較																												
鶴川地区	4 件	5 件	△1 件																												
穂別地区	2 件	5 件	△3 件																												

計 画	実 績			
区分	28年度	27年度	比 較	
件数	92件	117件	△25件	
(3) 町民の弔慰に対して、故人への追悼と敬意を表するため、レタックスにより弔慰文を送付する。				
5. 福祉団体助成事業				
(1) 民生児童委員協議会・遺族会への活動費の助成と支援を行う。				
(2) 自治会婦人部連絡協議会への活動費の助成を行う。				
6. 高齢者福祉活動事業				
(1) 老人クラブ活動への支援				
スポーツ大会、演芸発表会、研修及び交流事業などの実施、ボランティア活動を通じて社会参加する等、健康の増進とふれあいの機会を拡充するとともに、生きがいをもって生活できるよう支援する。				
(2) いきいきふれあいサロンの推進				
65歳以上でディサービスに通っていない、外出の機会の少なくなった高齢者を対象に、毎月ないし隔月に軽い体操やレクリエーション、そして昼食と共にしながら憩い場、孤独感の解消、心身の健康維持増進等交流の場づくり事業として実施する。町の「あった〇事業」の対象でスタンプカードを交付された方に社協のスタンプを押し支援する。				
(3) 男の料理教室の推進				
60歳以上の男性を対象に料理の基礎技術等を習得し、日常生活において栄養バランスの良い食事を心がけることにより、生活環境の改善、増進を図り、健康、福祉に繋げる。				
(4) 地区敬老会などへの祝い品の贈呈				
地区敬老会や施設の敬老会に参加し、長寿を祝い祝い品の贈呈をする。				
7. 障がい者福祉活動事業				
身障者福祉協会むかわ支部に、活動費を助成する。				
8. 児童・青少年福祉活動事業				
(1) 子供会連絡協議会に、活動費を助成し支援する。				
(2) 児童生徒健全育成事業（親子バス遠足）				
ひとり親・障がい児のいる世帯等の青少年が、集団生活の中で仲間に対して思いやりのある心を育て、交流及び研修を深めることを目的とする。				
9. 母子・父子福祉活動事業				
(1) つくしの会（母子会）に、活動費を助成し支援する。				
(2) 低所得世帯のひとり親家庭の小学校及び中学校修学旅行児童及び生徒に支度金として助成する				

計 画	実 績				
区分	28年度		27年度		増減
小学校	1件	10,000	2件	20,000	1件減
中学校	2件	20,000	5件	50,000	3件減
合 計	3件	30,000	7件	70,000	4件減
ランドセル贈呈	0件		0件		—

IV. 在宅福祉サービス事業

1. 受託事業

(1) 外出支援サービス事業

公共交通機関を使用できない高齢者等に、町内の病院や入浴等送迎サービスを実施する。

(2) 配食サービス事業

地域の独居高齢者や、高齢者夫婦世帯等を対象にボランティアによる見守り活動を含めた配食活動を実施する。

2. 生活支援事業

(1) 高齢者等生活支援事業

制度の狭間にある多様な福祉ニーズに弾力的に対応するため、社協の独自事業として次の事業を実施する。

ア. おでかけ支援事業

在宅の独居及び老夫婦等で、とじこもりがちな高齢者等に対し、お楽しみ行事、買い物、交流会、ドライブ、温泉入浴等へのおでかけを支援する事業

イ. 独居老人等窓ビニール張り事業

老朽住宅に居住する在宅高齢者等で、窓にビニールを張ることによって、少しでも暖かい生活ができるよう支援する事業

ウ. 災害見舞金の支給事業

火災、風水害等により、家屋等が使用に耐えない程に焼失、流失、崩壊した町民に、見舞金を支給する。

区分	28年度	27年度	比較
外出支援	延3,110回	延3,129回	△19回
入浴送迎	延182回	延300回	△118回
路線廃止	延208回	延257回	△49回
合 計	延3,500回	延3,686回	△186回

区分	28年度	27年度	比較
鶴川地区	3,606食	3,877食	△271
穂別地区	934食	802食	132
合 計	4,540食	4,679食	△139

町外おでかけ 各地区2回実施

区分	28年度	27年度	比較
鶴川地区	77名	67名	10名
穂別地区	64名	48名	16名
合 計	141名	115名	26名

区分	28年度	27年度	比較
鶴川地区	2件	4件	△2件
穂別地区	9件	10件	△1件
合 計	11件	14件	△3件

1件

計 画	実 績																												
エ. 寝具洗濯サービス事業 寝具類の衛生管理が困難な世帯で、65歳以上の単身世帯、高齢者のみの世帯及びこれに準ずる世帯に属する高齢者のうち介護保険の要介護及び要支援のもの及び重度障がい者の方を対象とする。																													
(2) 日常生活自立支援事業の推進 認知症や障がい等により判断能力が不十分な方々を対して、福祉サービス利用の援助、日常的な金銭管理等を行い、在宅での自立した生活を支援する。また、事業周知を図り専門員及び生活支援員と連携を密に推進する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th><th>28年度</th><th>27年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鶴川地区</td><td>1件</td><td>3件</td></tr> <tr> <td>穂別地区</td><td>0件</td><td>0件</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>1件</td><td>3件</td></tr> </tbody> </table>		区 分	28年度	27年度	鶴川地区	1件	3件	穂別地区	0件	0件	合 計	1件	3件															
区 分	28年度	27年度																											
鶴川地区	1件	3件																											
穂別地区	0件	0件																											
合 計	1件	3件																											
(3) 長寿祝い金贈呈事業 満100歳に達した長寿者に長寿祝い金を贈呈する	<p>前年度からの継続契約件数 2件 今年度新規契約件数 0件 解約件数 1件 次年度継続契約 1件 相談件数 5件 指揮監督者・生活支援専門員（職員兼務） 生活支援専門員：本所1名・支所1名配置 生活支援員：登録5名</p>																												
(4) 嵩末たすけあい助成事業 ① 嵩末見舞金（品）を支給（贈呈）する。 ② おせち料理を配食する。 ③ 地域福祉サービス事業 ア. 独居高齢者世帯等ビニール張り（再掲） 老朽住宅に居住する在宅高齢者等で、窓にビニールを張ることによって、少しでも暖かい生活ができるよう支援する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th><th>28年度</th><th>27年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鶴川地区</td><td>2件</td><td>1件</td></tr> <tr> <td>穂別地区</td><td>1件</td><td>3件</td></tr> <tr> <td>合 計</td><td>3件</td><td>4件</td></tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th><th colspan="2">28年度</th><th colspan="2">27年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>嵩末見舞金</td><td>17件 22名</td><td>280,000</td><td>16件 22名</td><td>270,000</td></tr> <tr> <td>おせち料理</td><td>20件 25食</td><td>55,000</td><td>24件 29食</td><td>63,800</td></tr> </tbody> </table> <p>11件（再掲）</p>		区 分	28年度	27年度	鶴川地区	2件	1件	穂別地区	1件	3件	合 計	3件	4件	区 分	28年度		27年度		嵩末見舞金	17件 22名	280,000	16件 22名	270,000	おせち料理	20件 25食	55,000	24件 29食	63,800
区 分	28年度	27年度																											
鶴川地区	2件	1件																											
穂別地区	1件	3件																											
合 計	3件	4件																											
区 分	28年度		27年度																										
嵩末見舞金	17件 22名	280,000	16件 22名	270,000																									
おせち料理	20件 25食	55,000	24件 29食	63,800																									

計 画	実 績												
<p>イ. 家事援助サービス利用券配付事業</p> <p>自力で家事を行うことが困難な高齢者等に「家事援助サービス利用券」を配付して、家事援助を行う。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th><th>28年度</th><th>27年度</th><th>比 較</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象自治会</td><td>5</td><td>5</td><td>—</td></tr> <tr> <td>対象世帯数</td><td>7</td><td>7</td><td>—</td></tr> </tbody> </table>	区 分	28年度	27年度	比 較	対象自治会	5	5	—	対象世帯数	7	7	—
区 分	28年度	27年度	比 較										
対象自治会	5	5	—										
対象世帯数	7	7	—										

V. ボランティア活動事業

1. ボランティアセンターの活性化

ボランティニアーズをつなぐ機能を持つセンターとして日常的なボランティアコーディネーションをはじめ、各種研修事業等の開催等を通して、ボランティア活動を活性化します。

- ① ボランティアセンター運営委員会を中心とし、ボランティアや会員並びに関係機関に沿った事業運営を図る。
- ② ボランティア登録の募集・受付等から利用者の希望に応えられるよう調整に努める。
- ③ ボランティア団体の紹介・募集などを行い、ボランティア活動に対する理解と関心を高める。
- ④ ボランティアセンター備品を整理し、広く貸し出しが行う。

2. ボランティア活動事業の推進

(1) ボランティア団体の強化育成

各種団体活動の推進のため助言・協力し、一部経費の助成をする。

ボランティアコーディネーターを本所、支所に各1名配置し、情報発信等に努めた。

いきいきふれあいサロン等の個人ボランティア活動の調整に努めた。

30件／延べ83名

区 分	28年度		27年度		比 較
団 体	14	2,027名	14	2,086名	△59名
個 人	/	80名	/	72名	8名
合 計	14	2,107名	14	2,158名	△51名

サロン事業等で活用できる遊具などを整備し、一般貸出しの情報提供に努めた。

ボランティアさつき会 21,000円助成
ボランティア連絡協議会 88,000円助成

計 画	実 績														
(2) ボランティア養成研修及び活動研修会の実施 ボランティア活動を実践している活動者やボランティア活動②興味関心を持つ地域住民に対し、研修の機会を設け、ボランティアの底上げ目指すとともに各種ボランティア事業への参加、実践者を育てまた、学童、生徒のボランティア活動を町民に報告し活動の幅を広げる研修会を実施する。	○養成研修 平成28年7月6日(水) ・穂別町民センター・参加者 24名 ・「ボランティア活動に役立つ傾聴」～五十嵐教行氏 ○活動研修会 平成28年11月7日(月) ・四季の館研修室 参加者 32名 ・報告会(鵡川中、穂別高校) ・ボランティア活動に活かす傾聴の心構え ・NPO法人北海道総合福祉研究センター池田ひろみ氏														
(3) 福祉教育推進事業 町内の学校及び関係機関と協働し、町民がボランティア活動等を通して地域に関わることのできる機会を設け、福祉教育を促進できる環境を整える。	各学校のボランティア同好会の活動状況を把握し、事業の周知方法及び新たな企画を模索した。														
(4) ボランティアアドバイザーなどの実践活動の実施 (なかよし広場) 「ボランティアアドバイザー研修」及び「ボランティア養成研修」を終え、実際に実践できる場を提供し、今後のボランティア活動の一層の振興を図るために、鵡川地区は町内の拠点施設を利用し6地区で、穂別地区は4地区でなかよし広場を実施する。 町の「あった〇事業」の対象事業として支援する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th><th>28年度</th><th>27年度</th><th>比 較</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鵡 川</td><td>開催場所 参加者数</td><td>6箇所 176名</td><td>6箇所 182名</td><td>△6名</td></tr> <tr> <td>穂 別</td><td>開催場所 参加者数</td><td>2箇所 32名</td><td>2箇所 34名</td><td>△2名</td></tr> </tbody> </table>	区 分	28年度	27年度	比 較	鵡 川	開催場所 参加者数	6箇所 176名	6箇所 182名	△6名	穂 別	開催場所 参加者数	2箇所 32名	2箇所 34名	△2名
区 分	28年度	27年度	比 較												
鵡 川	開催場所 参加者数	6箇所 176名	6箇所 182名	△6名											
穂 別	開催場所 参加者数	2箇所 32名	2箇所 34名	△2名											
(5) ボランティア研修・交流会事業への参加 管内で行われるボランティアばんざいin胆振や町内ボランティア研修などボランティア活動の担い手づくりの取り組みを積極的に行う。	○平成28年度ボランティアばんざいin胆振 実施日：平成28年8月27日～28日 ・室蘭市文化センター ・参加者7名 ○ボランティア視察研修(赤平市、芦別市) 実施日：平成28年7月11日(月) ・参加者23名														
(6) ボランティア実践者の保険加入促進 活動中の事故に備え、実践者の保険加入を促進する。	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th><th>28年度</th><th>27年度</th><th>比 較</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>加入数</td><td>290名</td><td>293名</td><td>△3名</td></tr> </tbody> </table>		28年度	27年度	比 較	加入数	290名	293名	△3名						
	28年度	27年度	比 較												
加入数	290名	293名	△3名												
(7) 学童・生徒ボランティア活動普及指定校に、活動費を助成する。	指定校の調整がつかず助成なし。														

計 画	実 績																				
(8)リサイクル活動事業（収集ボランティア）の推進 リングプル、古切手、書き損じハガキ、使用済みテ レホンカード回収等のリサイクル活動を奨励する。	ブルタブ、古切手等のリサイクル活動を推進 した。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>主な預託物品</th><th>28年度</th><th>27年度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ブルタブ</td><td>94件</td><td>243.265kg</td></tr> <tr> <td>古切手</td><td>63件</td><td>30,768枚</td></tr> <tr> <td>ハガキ</td><td>12件</td><td>440枚</td></tr> <tr> <td>カード</td><td>9件</td><td>112枚</td></tr> </tbody> </table>	主な預託物品	28年度	27年度	ブルタブ	94件	243.265kg	古切手	63件	30,768枚	ハガキ	12件	440枚	カード	9件	112枚					
主な預託物品	28年度	27年度																			
ブルタブ	94件	243.265kg																			
古切手	63件	30,768枚																			
ハガキ	12件	440枚																			
カード	9件	112枚																			
VI. 生活福祉資金・たすけあい金庫貸付事業																					
(1)町内に在住する生活困窮者などに対し、その世帯 の援護、自立更正、療養、住宅等の福祉資金の貸 付事業を行う。(道社協が実施主体、市町村社協が 窓口)	前年度からの継続貸付 4件 償還が完了した貸付 0件 次年度への継続貸付 4件																				
(2)失業や減収で生活が困窮し、日常生活の維持が困難 となっている低所得世帯の生活支援、住居確保、生 活立て直しなどの資金として、総合支援資金の貸付 事業を行う。(道社協が実施主体、市町村社協が窓口)	なし																				
(3)高等学校、大学等へ入学又は、就学する低所得世帯 に対して教育支援資金の貸付事業を行う。 (道社協が実施主体、市町村社協が窓口)	前年度の継続貸付 3件																				
(4)住宅用資産を有するものの、現金収入が少なく生計 の維持が困難である高齢者に対して、不動産担保型 生活資金の貸付事業を行う。 (道社協が実施主体、市町村が窓口)	実績なし																				
(5)生活困窮者に対して、応急生活資金、応急医療費な どの生活つなぎ資金として、たすけあい金庫貸付事 業を行う。(むかわ町社協が実施主体)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th><th>28年度</th><th>27年度</th><th>比 較</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>前年度からの継続貸付</td><td>6件</td><td>3件</td><td>3件</td></tr> <tr> <td>本年度の新規貸付</td><td>3件</td><td>9件</td><td>△6件</td></tr> <tr> <td>償還が完了した貸付</td><td>5件</td><td>6件</td><td>△1件</td></tr> <tr> <td>次年度への継続貸付</td><td>4件</td><td>6件</td><td>△2件</td></tr> </tbody> </table>	区 分	28年度	27年度	比 較	前年度からの継続貸付	6件	3件	3件	本年度の新規貸付	3件	9件	△6件	償還が完了した貸付	5件	6件	△1件	次年度への継続貸付	4件	6件	△2件
区 分	28年度	27年度	比 較																		
前年度からの継続貸付	6件	3件	3件																		
本年度の新規貸付	3件	9件	△6件																		
償還が完了した貸付	5件	6件	△1件																		
次年度への継続貸付	4件	6件	△2件																		
VII. 心配ごと相談事業	隨時相談を受け、解決に努めた。 平成28年10月17日実施の一日合同行政相 談日に事業が重なり不参加。																				
心配ごと相談所を設置し、または民生児童委員の協 力により、住民の日常生活上のいろいろな相談に気 安く応じ、親身になって適切な助言を行い、あるいは は解決に努める。また、行政からの要請を受け「行政 相談週間」に心配ごと相談員として職員の派遣を行 う。																					